

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年8月12日

【四半期会計期間】 第120期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 神東塗料株式会社

【英訳名】 SHINTO PAINT COMPANY, LIMITED

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 玉村隆平

【本店の所在の場所】 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号

【電話番号】 大阪06(6426)3355(代表)

【事務連絡者氏名】 企画・経理室部長 村野義博

【最寄りの連絡場所】 兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号

【電話番号】 大阪06(6426)3355(代表)

【事務連絡者氏名】 企画・経理室部長 村野義博

【縦覧に供する場所】 神東塗料株式会社本社(東京)
(東京都江東区新木場四丁目3番17号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第119期 第1四半期 連結累計期間	第120期 第1四半期 連結累計期間	第119期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	5,598	5,561	23,383
経常利益 (百万円)	327	240	1,518
四半期(当期)純利益 (百万円)	186	106	826
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	230	220	994
純資産額 (百万円)	13,605	14,382	14,368
総資産額 (百万円)	34,129	34,866	34,847
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	6.02	3.45	26.68
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	38.9	40.1	40.0

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額」については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

(塗料事業)

神之東塗料貿易(上海)有限公司及びPT. Shinto Paint Indonesiaは重要性が増したため、新たに連結子会社にしております。

この結果、平成25年6月30日現在では、当社グループは、当社、親会社、子会社11社(うち、持分法を適用しない非連結子会社1社)及び関連会社4社(うち、持分法を適用しない関連会社1社)により構成されることとなりました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導による大胆な金融緩和政策や財政出動の効果に対する期待感から、それまで続いた円高基調が是正され、株価も上向くなど景気回復への期待感が高まりました。しかしながら、欧州債務問題の長期化や中国はじめ新興国経済の減速等の影響を受け、企業を取り巻く経営環境は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループにおきましてはこうした経済状況の中で新製品の開発による積極的な販売活動及びアジア市場での海外事業の展開とともに、コスト競争力の一層の向上を目指して取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,561百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。損益面では、営業利益は194百万円（前年同四半期比33.6%減）、経常利益は240百万円（前年同四半期比26.6%減）、四半期純利益は106百万円（前年同四半期比42.7%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(塗料事業)

アルミ電着塗料は、サッシ市場が堅調に推移しており、震災復興需要により東日本地域での各種建材メーカーをはじめ、各ハウスメーカーは増産体制に入っているものの、一部の主力ユーザーでの生産調整や新規獲得ラインの納期の延期などが影響し、売上は減少いたしました。

工業用電着塗料は自動車、電気機械、プレハブ住宅及び鋼製家具向けなどが堅調に推移しており、家電ユーザーでの塗装仕様変更によるライン閉鎖があったものの、新規獲得ラインが順調に推移したこともあり、売上はほぼ前年並みとなりました。

粉体塗料は鋼製家具、自動車、建材向け等、全体的に堅調に推移しており、なかでも配電盤や電気機械関連ユーザーは太陽光発電及び非常用発電システム等の需要が旺盛で堅調に推移したこともあり、売上は増加いたしました。

工業用塗料は、建材関連と形鋼製品向けが順調に推移し、出荷量が増加いたしました。しかしながら主力の工作機械及び建設機械向けユーザーの生産調整による減産が昨年後半から続いており、売上は減少いたしました。

建築塗料は、復興需要に期待があるものの、工事着工の遅れなどから出荷量が伸びず売上は減少いたしました。

防食塗料はインフラ強化策などの影響から今年度発注見通しにもやや回復の傾向が見られるものの、当第1四半期は出荷を予定した大型工事の工期遅れから出荷量が伸びず、売上は減少いたしました。

道路施設用塗料は主力のカラー舗装材、すべり止め材及び段差修正材が堅調に推移し、また区画線についても溶融材が堅調に推移いたしました。とくに国の安全交通基本5カ年計画の主要テーマである高齢者 - 子供、歩行者 - 自転車、生活道路 - 幹線道路の3つの安全確保に合致したすべり止めタイプのカラー舗装材の需要の増加により出荷量が増え、売上は増加いたしました。

軌道材料製品については、道床安定剤が主力ユーザー向けに順調に伸び、スラブ補修材及び可変パッドにつきましても主力ユーザー向けに堅調に推移した結果、売上は増加いたしました。

自動車用塗料分野では主力ユーザーの生産量の増加により出荷量が増え、さらにはインドネシア向けを中心に主力ユーザーの海外向けの出荷が好調に推移し、売上は増加いたしました。

この結果、塗料事業の売上高は5,149百万円（前年同四半期比0.7%増）、経常利益は248百万円（前年同四半期比20.7%減）となりました。

（化成品事業）

受託生産している化成品事業の売上高は412百万円（前年同四半期比15.2%減）、経常損失は8百万円（前年同四半期は13百万円の経常利益）となりました。

(2) 財政状態の分析

（総資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が78百万円、たな卸資産が172百万円、有形固定資産が42百万円増加し、受取手形及び売掛金が288百万円減少したこと等により34,866百万円（前連結会計年度末比19百万円増）となりました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金が146百万円、短期借入金が135百万円増加し、設備関係支払手形が121百万円、賞与引当金が110百万円及び長期借入金が49百万円減少したこと等により20,484百万円（前連結会計年度末比5百万円増）となりました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ為替換算調整勘定が70百万円、その他有価証券評価差額金が24百万円増加し、利益剰余金が77百万円減少したこと等により14,382百万円（前連結会計年度末比14百万円増）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループが支出した研究開発費の総額は48百万円でありま
す。また研究開発による新製品・新品種は下記の通りであります。

(塗料事業)

・クイックエポシーラー

(屋根材用ターペン可溶性エポキシ変性アクリル樹脂系シーラー)

・シントーフロン#100Sマイルド上塗

(2液ターペン可溶性ふっ素樹脂系高耐候性上塗り塗料)

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	112,000,000
計	112,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	31,000,000	31,000,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株であります。
計	31,000,000	31,000,000	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年6月30日		31,000		2,255		585

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 14,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 30,931,000	30,931	-
単元未満株式	普通株式 55,000	-	-
発行済株式総数	31,000,000	-	-
総株主の議決権	-	30,931	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の「株式数」の欄には証券保管振替機構名義の普通株式が6,000株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る普通株式の議決権が6個含まれております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(株)
(自己保有株式) 神東塗料株式会社	兵庫県尼崎市南塚口町 六丁目10番73号	14,000	-	14,000	0.05
計	-	14,000	-	14,000	0.05

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,428	1,507
受取手形及び売掛金	3 8,284	3 7,995
商品及び製品	1,885	2,034
原材料及び貯蔵品	617	640
その他	297	303
貸倒引当金	37	20
流動資産合計	12,475	12,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,419	2,410
機械装置及び運搬具（純額）	846	859
土地	16,247	16,247
その他（純額）	225	264
有形固定資産合計	19,739	19,782
無形固定資産	385	371
投資その他の資産		
投資有価証券	1,564	1,636
その他	711	661
貸倒引当金	29	45
投資その他の資産合計	2,246	2,252
固定資産合計	22,371	22,406
資産合計	34,847	34,866
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3 7,255	3 7,402
短期借入金	3,397	3,533
未払法人税等	164	99
賞与引当金	215	104
役員賞与引当金	15	3
その他	3 1,037	3 992
流動負債合計	12,086	12,135
固定負債		
長期借入金	1,985	1,935
再評価に係る繰延税金負債	4,557	4,557
退職給付引当金	1,187	1,204
役員退職慰労引当金	8	8
その他	653	642
固定負債合計	8,391	8,348
負債合計	20,478	20,484

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255	2,255
資本剰余金	585	585
利益剰余金	3,854	3,776
自己株式	2	2
株主資本合計	6,692	6,614
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	48
土地再評価差額金	7,282	7,282
為替換算調整勘定	47	22
その他の包括利益累計額合計	7,259	7,354
少数株主持分	415	413
純資産合計	14,368	14,382
負債純資産合計	34,847	34,866

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,598	5,561
売上原価	4,345	4,387
売上総利益	1,253	1,174
販売費及び一般管理費		
発送費	141	149
広告宣伝費及び販売促進費	24	30
従業員給料及び手当	251	257
賞与引当金繰入額	43	45
退職給付費用	36	30
減価償却費	37	37
試験研究費	41	48
その他	384	381
販売費及び一般管理費合計	961	980
営業利益	292	194
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	8
受取賃貸料	7	5
持分法による投資利益	38	44
その他	1	7
営業外収益合計	56	66
営業外費用		
支払利息	7	6
投資有価証券評価損	8	0
支払補償費	2	10
その他	2	3
営業外費用合計	21	20
経常利益	327	240
特別損失		
固定資産除却損	1	1
特別損失合計	1	1
税金等調整前四半期純利益	325	238
法人税等	124	112
少数株主損益調整前四半期純利益	201	126
少数株主利益	14	19
四半期純利益	186	106
少数株主利益	14	19
少数株主損益調整前四半期純利益	201	126
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	24
為替換算調整勘定	-	16
持分法適用会社に対する持分相当額	34	53
その他の包括利益合計	29	94
四半期包括利益	230	220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215	196
少数株主に係る四半期包括利益	14	23

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年6月30日)	
1	連結の範囲の重要な変更 当第1四半期連結会計期間より、重要性が増した神之東塗料貿易(上海)有限公司及びPT. Shinto Paint Indonesiaを連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年6月30日)	
1	税金費用の計算 税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
PT. Shinto Paint Indonesia	84百万円 (900千USドル)	- (-)

2 手形割引高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形割引高	1百万円	-

3 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	464百万円	366百万円
支払手形	360百万円	372百万円
設備関係支払手形	114百万円	26百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年6月30日)
減価償却費	117百万円	130百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月11日 取締役会決議	普通株式	123	4.00	平成24年3月31日	平成24年6月8日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月10日 取締役会決議	普通株式	154	5.00	平成25年3月31日	平成25年6月7日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	5,112	486	5,598	5,598
セグメント利益	313	13	327	327

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	327
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	327

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	塗料事業	化成品事業	計	
売上高	5,149	412	5,561	5,561
セグメント利益又は損失()	248	8	240	240

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	240
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	240

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	6.02円	3.45円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	186	106
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	186	106
普通株式の期中平均株式数(千株)	30,986	30,985

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年5月10日開催の取締役会において、平成25年3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 154百万円

1株当たりの金額 5円00銭

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成25年6月7日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月12日

神東塗料株式会社
取締役会 御中

有限責任あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中 尾 正 孝 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 谷 口 誓 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている神東塗料株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、神東塗料株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。